

市原市立小中学校トイレ環境整備事業発注管理支援業務委託
公募型プロポーザル評価要領
(客観評価用)

1. 評価要領（客観評価用）の位置付け

本要領は、市原市立小中学校トイレ環境整備事業発注管理支援業務委託公募型プロポーザル募集要項（以下「募集要項」と言う。）に基づき、事務局が参加者の客観評価を行うための評価点の算出方法を示すものである。

2. 業務提案書を依頼する者の選定方法

- ① 提出された参加表明書等により、事務局で参加資格及び参加者の業務実績等を審査し、募集要項第3（4）及び（5）を満たしている者に対して業務提案書を依頼する者を選定するものとする。

なお、客観評価の選定結果については、書面により参加者全員に通知するものとする。

- ②客観評価の評価項目及び配点は、以下のとおりとする。

評 価 項 目	配 点
客観評価	100

3. 審査項目及び配点基準の明細

【客観評価】

(1) 客観評価における審査項目及び配点は以下のとおりとする。

評価項目	評価の着目点			評価	
	評価基準			配点	
客観評価	(A) 参加者の規模・実績	ア 技術職員数 イ 有資格者数 ウ 実績	技術職員数を評価する	5	
			有資格者数を評価する	5	
			実績の種類、規模、件数について評価する	15	
		小 計			25
	(B) 配置予定技術者の資格	専門分野の技術者資格	各担当分野について、資格（取得後1年以上のものに限る）の内容により評価する	発注支援等主任技術者	8
				統括管理技術者	8
				設計マネジメント管理者	6
				施工マネジメント管理者	6
				工事監督職員支援者	7
		小 計			35
	(C) 配置予定技術者の実績	同種・類似業務の実績	次の順で評価する ①同種業務 ②類似業務 の実績及びその際携わった立場を評価する。	発注支援等主任技術者	8
				統括管理技術者	8
				設計マネジメント管理者	8
				施工マネジメント管理者	8
				工事監督職員支援者	8
小 計			40		
合計			100		

※工事監督職員支援者については、配置する技術者のうち、代表する1名について記載すること。

(A) 参加者の規模・実績

参加者に所属する技術職員数及び有資格者数について評価を行う。

ア 技術職員数【5.0点】

技術職員数の評価は下記による。

技術職員数（人）	評価点
150～	5.0
100～149	3.5
50～99	2.5
20～49	1.0
～19	0.5

イ 有資格者数【5.0点】

有資格者数の評価は下記による。

技術職員数（人）	評価点
100～	5.0
75～99	3.5
50～74	2.5
20～49	1.0
～19	0.5

※有資格者数は、CCMJ、1級施工監理技術者等の担当分野に応じた必要資格の有資格者数とする。

ウ 参加者の同種・類似業務実績（CM業務に関するもの）【15.0点】

同種業務及び類似業務の実績（実績の有無及び件数）について評価を行う。平成22年度以降に履行した実績5件を1件あたり基本配点3点として、対象施設の区分の及び受注体制の係数を乗じた合計点数にて評価する。

件数	基礎配点
5	3

対象施設	区分係数
同種	1.0
類似	0.8

担当CM	担当係数
3項目すべて	1.0
うち2項目	0.9
うち1項目	0.8

「担当CM」とは、発注・契約支援、設計マネジメント、施工マネジメントをそれぞれ1項目とし、担当した項目数の合計とする。

※評価点の計算は下表のとおりとなる。（小数点第二位以下切捨て）

件数	基礎配点 A	区分係数 B		担当係数 C		評価点 A×B×C	合計
		同種	類似	3項目	2項目		
1	3	同種	1.0	3項目	1.0	最大評価点 3.0	15.0
		類似		0.8	2項目		
		同種	1.0	1項目	0.8		
類似	0.8	3項目		1.0			
2	3	同種	1.0	2項目	0.9	最大評価点 3.0	
		類似		0.8	1項目		0.8
		同種	1.0	3項目	1.0		
類似	0.8	2項目		0.9			
3	3	同種	1.0	1項目	0.8	最大評価点 3.0	
		類似		0.8	3項目		1.0
		同種	1.0	2項目	0.9		
類似	0.8	1項目		0.8			
4	3	同種	1.0	3項目	1.0	最大評価点 3.0	
		類似		0.8	2項目		0.9
		同種	1.0	1項目	0.8		
類似	0.8	3項目		1.0			
5	3	同種	1.0	2項目	0.9	最大評価点 3.0	
		類似		0.8	1項目		0.8
		同種	1.0	3項目	1.0		
類似	0.8	2項目		0.9			

(B) 配置予定技術者の資格【35.0点】

配置予定技術者の有する資格（※初回登録後1年以上のものに限る）について、下表の資格評価表により評価する。

担当業務分野	評価する技術者資格	評価点
発注支援等 主任技術者	1級施工管理技士（建築・管）・建築積算士	1.0
	1級建築士・建築コスト管理士	2.0
	CCMJ（認定コンストラクションマネジャー）・技術士※1	3.0
統括管理技術者	建築積算士	1.0
	1級建築士・1級施工管理技士（建築・管）・建築コスト管理士	2.0
	CCMJ（認定コンストラクションマネジャー）・技術士※1	3.0
設計マネジメント 管理者	1級施工管理技士（建築・管）・建築積算士	1.0
	1級建築士・建築コスト管理士	2.0
	技術士※2	3.0
施工マネジメント 管理者	一級建築士・建築積算士	1.0
	1級施工管理技士（建築・管）・建築コスト管理士	2.0
	技術士※2	3.0
工事監督職員 支援者	一級建築士	1.0
	1級施工管理技士（建築・管）・建築コスト管理士	2.0
	技術士※2	3.0

※1：発注支援等主任技術者及び統括管理技術者において、「技術士総合技術監理部門（建設又は衛生工学）」の資格を所持している場合は、評価点に「3.0」を加算する。

※2：設計マネジメント管理者、施工マネジメント管理者及び工事監督職員支援者において、「技術士衛生工学部門」の資格を所持している場合は、評価点に「3.0」を加算する。

※3：評価対象となる資格は、発注支援等主任技術者、統括管理技術者及び工事監督職員支援者については4つ、設計マネジメント業務及び施工マネジメント業務は3つまで選択できるものとする。

※4：評価点は※2で定めた点数の合計とし、3.（1）の表で定めた点数以下とする。

(C) 配置予定技術者の実績

同種業務及び類似業務実績の有無

過去の実績4件までを下記により評価する。実績が無い場合は0点とする。

件数	基礎配点	対象施設	区分係数
4	2	同種	1.0
		類似	0.8

ア 発注支援等主任技術者の実績【8.0点】

計算は下表のとおりとなる。(小数点第二位以下切捨て)

基礎配点 A	過去の実績 での立場 B		同種業務 実績 C	類似業務 実績 D	小計 A×B×C+ A×B×D	合計
発注支援等 主任技術者 配点2	担当者	1.0	×	×	最大評価 8.0	8.0
			1.0	0.8		

イ 統括管理技術者、設計・施工マネジメント管理者の実績【24.0点】

過去の実績での立場	統括管理技術者実績評 価の場合の係数	設計・施工マネジメント管 理者実績評価の場合の係数
管理技術者又はこれに準ずる立場	1.0	1.0※
主任担当者又はこれに準ずる立場	0.8	1.0
担当者の立場	0.5	0.8

※当該実績の主たる担当業務が、本業務での担当業務分野と同じ場合に限る。

計算は下表のとおりとなる。(小数点第二位以下切捨て)

基礎配点 A	過去の実績 での立場 B		同種業務 実績 C	類似業務 実績 D	小計 A×B×C+ A×B×D	合計		
統括管理 技術者 配点2	管理技術者	1.0	×	×	最大評価 8.0	24.0		
	主任担当者	0.8						
	担当者	0.5					1.0	0.8
設計マネジメン ト管理者 配点2	管理技術者	1.0	×	×	最大評価 8.0			
	主任担当者	1.0					1.0	0.8
	担当者	0.8					1.0	0.8
施工マネジメン ト管理者 配点2	管理技術者	1.0	×	×	最大評価 8.0			
	主任担当者	1.0					1.0	0.8
	担当者	0.8					1.0	0.8

ウ 工事監督職員支援者の実績【8.0点】

計算は下表のとおりとなる。(小数点第二位以下切捨て)

基礎配点 A	過去の実績 での立場 B		同種業務 実績 C	類似業務 実績 D	小計 $A \times B \times C +$ $A \times B \times D$	合計
工事監督職員 支援者 配点2	担当者	1.0	最大件数4 × 1.0	最大件数4 × 0.8	最大評価 8.0	8.0

※工事監督職員支援者の実績は、工事監理業務の実績を評価する。